

平成23年度岡山県農林水産総合センター農業研究所機関評価評価票（概要）

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 3人	優れている 3人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 岡山県のグランドプラン「新おかやま夢づくりプラン」、農林水産業のマスタープラン「21おかやま農林水産プラン」に基づき、農業研究所の運営方針が策定されている。そして、もも、ぶどう、なす、黒大豆などのブランド品目や水田農業を基軸に県の農業振興方針に添った研究が実施されている。技術開発の重点分野として、「高付加価値付与」、「省力・低コスト化」、「環境負荷低減」及び「温暖化への対応」を取り上げ、これら重点分野の位置付けが体系的に適切になされている。 2. 今後も「くだもの王国おかやま」を支える技術支援や、東日本大震災避難地域の農業者の受入を含め、安全安心かつ高品位な食料生産を進めるため、技術開発を期待する。					
2 組織体制及び人員配置並びに予算配分	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 人員並びに予算が非常に厳しいなか、重点分野を設けて課題を絞り込むなど工夫しながら、非常に多くの研究課題に取り組み、よく頑張っていると評価できる。所内の組織、人員配置、予算配分も妥当である。これ以上、予算・人員等が減り、研究所が弱体化ないことを望む。 2. 総合力の観点から、平成22年4月の再編統合は、時宜を得たものとする。この統合による研究所間や普及部門とのより密接な連携が、研究成果の実用化等に繋がることを期待する。 3. 外部資金の確保率が高いのは、研究所の研究業績が評価され、正常に機能している証拠である。今後も外部資金の獲得に努力する必要がある。					
3 施設・設備等	非常に優れている 0人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 本館は相当老朽化が進んでおり、現状の施設・設備では不十分と思える。しかし、文部科学省などの外部資金を確保し、可能な限り省力化を図れる先端機器の導入ができています。当面の試験研究に必要な設備・備品などは概ね備わっていることは評価できる。今後は農産物の放射能汚染検査に対応した機器の導入を計画する必要があるのではないかと。 2. 実験農場の効率的な利用は今後の課題である。					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 4人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 厳しい人的予算的状況のなか、実用可能な研究成果が着実に挙がっている。 2. 毎年各種学会誌で複数の論文が公表されており、解説・指導記事も多く、研究は活発に行われている。特許や登録品種も継続登録されており、研究活動は良好である。また、国際誌に論文が掲載され、また学会で受賞するなど、研究の質の高さが評価					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験等の実施状況	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 農家から持ち込まれた診断および技術相談の件数は多く、農家から頼りにされている様子が伺える。技術相談・指導、依頼試験等には厳しい人的、予算的状況のなかで、よく対応している。 2. 農業試験場場友会を復活させ意欲ある農家に高い技術指導を指導して欲しい。					

6 人材育成	非常に優れている 0人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
--------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 人的予算的縮減で最も危惧されるのは、次世代を担う研究員の育成である。職場内外の研修に職員を参加させ、計画的、持続的に資質向上に努めていることは評価できる。
2. 農業大学校や酪農大学校での講義時間も多く評価できる。

7 他機関との連携	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
-----------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 厳しい人的状況の中、他機関との共同研究が平成22年度以降急増している。他機関との連携が進展するとともに、外部資金確保の努力をしたことが伺える。
2. 文部科学省の学術研究機関の指定を受けたことは望ましい。

8 県民への情報発信	非常に優れている 2人	優れている 4人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 新聞、テレビ、ラジオ、センターのセミナー、一般公開等、視察対応等の多様な手段を活用して情報発信していることは望ましい。
2. 専門家的な文章や構成ではあるが県民への情報発信も進み、丁寧な内容に改善されている。
3. ホームページは重要な情報発信手段であるので、活用についても検討しておく必要がある。是非、次世代の育成に向け「なんだろうコーナー」、「質問コーナー」などを充実して頂きたい。長い目で見ると後継者対策にもつながるものと期待している。
4. 生産者、農業技術者対象の新技术紹介を継続実施したほうがよい。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 1人	優れている 5人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
--------------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 指摘事項に対して、諸種の改善対策が実施されており望ましい。
2. 研究費補助対象の学術機関として指定を受けたことは、特に評価できる。

総合評価	非常に優れている 0人	優れている 6人	妥当 0人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
------	----------------	-------------	----------	--------------	-----------------

**助言、指摘事項等**

1. 限られた研究資金、施設、職員数ながらも、目標を定め、積極的な研究・開発の推進等により岡山県の農業振興に役立つ新品種、新技术の開発や研究成果の公表や農業者に対する技術的支援など、「おかやまブランド」の確立のために、よく頑張っており立派な成果をあげていることは大いに評価できる。また、職員の資質向上にも努め、他機関との連携を図るなど高く評価でき、今後も大いに期待する。
2. 農業県といわれる北関東東北における農畜産物の出荷停止による食料減、価格上昇などの不安要因が今後の日本の食料問題に大きく陰を落とすことは自明である。汚染地域からの農業者の受入も含め、岡山県の農業振興、すなわち、安全かつ優良農産物の生産、過疎対策、将来の担い手育成に尽力して頂ければと大いに期待している。